



対策

毎回、量的調査と質的調査に関する問題が大部分を占めており、第34回にはここから6問が出題されている。量的調査の方法からは、全数調査と標本調査、質問紙の作成方法や留意点、調査票の配布と回収方法、集計と分析などに関する出題が多い。また、質的調査の方法からは、観察法と面接法が繰り返し出題されており、今後もこれらの基礎的な知識を問う問題が中心になるものと思われる。

特に、質問紙の作成や集計・分析の方法については、具体的調査において実践できるように、技法として習得することが望ましい。また、文献データベースやインターネットによる調査など、ITの活用方法やメリット、デメリットについても学習しておきたい。

その他、社会調査における倫理や個人情報保護などについては、これまでに出題された問題を中心に学習しておく必要がある。